

令和5年8月21日発行『徳洲新聞』(No.1403)

東京徳友会が通常総会

地域医療に寄与し前進

都内にある徳洲会病院・施設の協力企業で構成する東京徳友会は6月29日、2023年度通常総会を開催した。東上震一理事長や東京西徳洲会病院の佐藤一彦院長、武蔵野徳洲会病院の桶川隆嗣院長らが来賓として出席。懇親会では会員企業や両院の職員ら80人を超える参加者が交流、盛会となった。

総会の冒頭、樋口昭久・東京徳友会会長は「徳洲会の理念を实践する真のパートナーとして地域医療に寄与し、会員企業一丸となって前進する一年にしたい」

と抱負を語った。22年度事業報告、収支決算、23年度事業計画、収支予算、役員・理事改選の各議案を承認。樋口会長らが再任された。

来賓挨拶で東上理事長は「徳洲会は多くの方々に助けられて今の姿があります。これからも皆さんの力を借りながら、弱い人のため、地域の方々のために貢献していきたい」と力強く語った。



懇親会後に東京徳友会役員や来賓で記念撮影(前列左から4人目が東上理事長、その右が樋口会長)